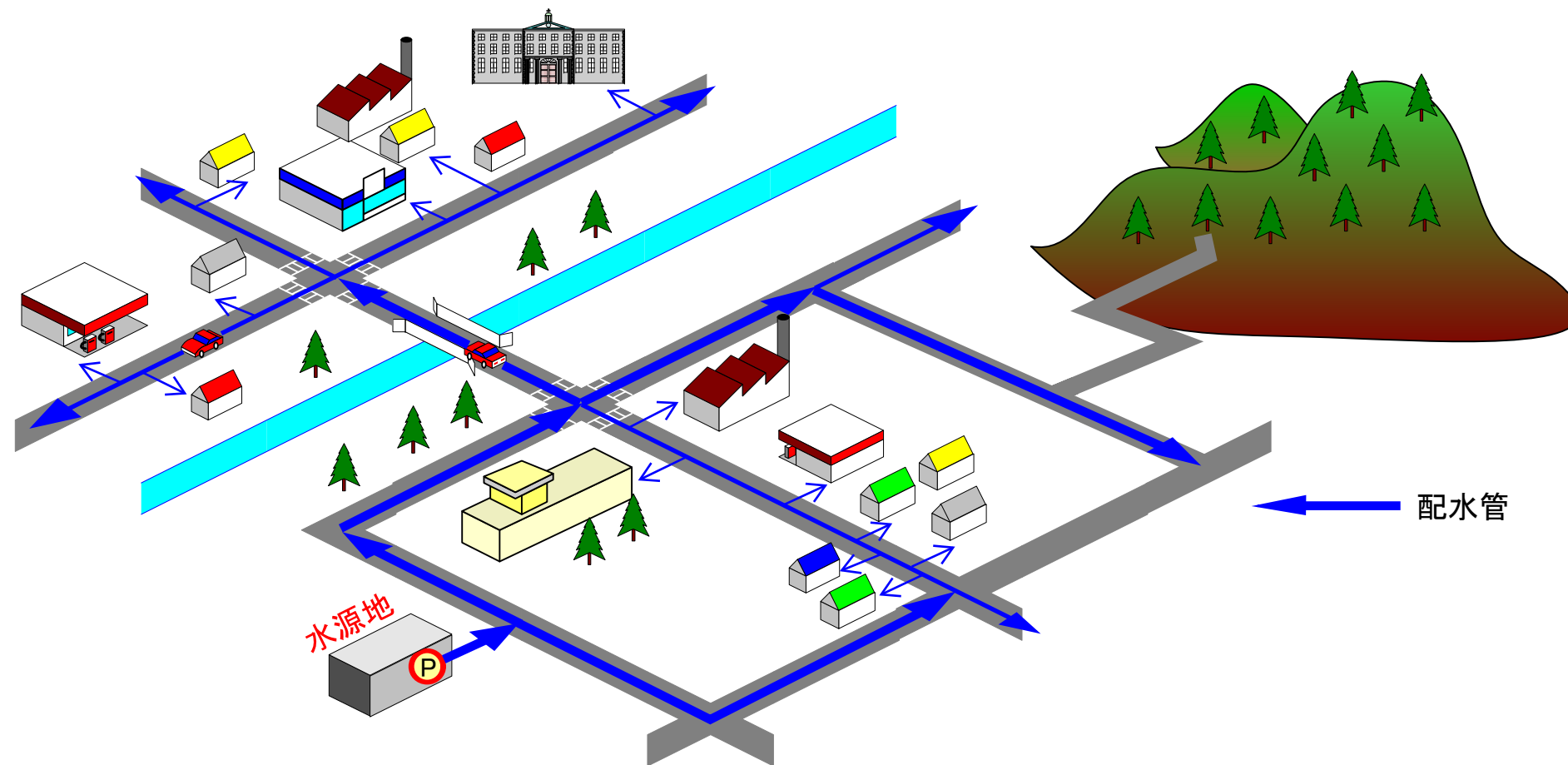


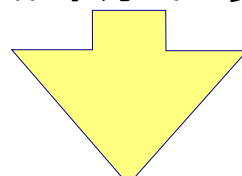
配水方式の変更イメージ

現状【ポンプ圧送方式】

- ①水源地から配水ポンプで直接各家庭に配水する方式です。
- ②常時ポンプを稼働しなければならないため、ランニングコストや日常点検を必要とします。
- ③災害時などの停電時には、断水となります。また、復旧の際には、赤水が発生する場合があります。



◆配水方式の変更



計画【自然流下方式】

- ①自然流下方式は、水源地から定量ポンプにより送水管を通して高台の配水池に飲料水を貯水します。
- ②高台から高低差(位置エネルギー)を利用して、自然に流下して各家庭へ配水します。
- ③停電時の影響を受けることが無いため、断水の可能性が少なくなります。
- ④配水池に貯水されている水は、災害時の備蓄水の役割も兼ねています。
- ⑤配水ポンプの運転時間が減少することで、電気使用料の削減とCO2削減による地球温暖化防止にも寄与します。

